



# 大洲高校PTA月報

平成29年12月号

会員寄稿

## 雲外蒼天

3年学年主任 今川 賢一

気温の急激な変化で、正門にあるすずかけの木（タイワンフウ）も焦眉に色づき、大洲高校も秋から冬へとその装いを変えています。紅、朱、黄、黄緑のコントラストは、私個人にとっては毎年恒例の風景であり、秋のもの淋しさとともに「とうとう来たな」という気持ちにさせるものですが、受験生にとってはそれどころではないといった感じで、眼前のテキストに日々集中しています。4月に「雲外蒼天～共に邁進しよう～」を学年目標として掲げ、苦勞を厭わず、その先にある大きな目標に向けて共に頑張っていこうとスタートしました。早いもので、卒業まであと3か月になりました。就職や進学で既に結果が出ている生徒もいますが、多くの3年生はこれから大学入試センター試験をはじめとする数々の試験を経て、自らの進路を決定していく重要な時期を迎えます。

さて、今年度の大学入試センター試験は、1月13日(土)、14日(日)の両日に実施され、今年度は全国で約56万人が受験する予定です。この2日間は、学力のみならず、気力や体力まで試されると言ってもいいでしょう。進学雑誌ではセンター試験に向けて朝型に変えようなどというアドバイスもありますが、大切なのは、ある程度睡眠時間を確保した規則正しい生活です。体調を崩したら元も子もありません。日頃の体調管理について、御家庭でのバックアップを是非ともお願いします。センター試験後は自己採点の結果をもとに担任と面談し、前期・後期試験、一部公立大の中期試験の出願を1月22日(月)から1月31日(水)の間に行います。二次試験に向けて一気に舵を切る時でもあります。勉強だけではなく、自分の将来について真正面から真剣に向き合わなければならない期間でもあります。悩み、苦しみ、頭が飽和状態ではちきれんばかりになるのもこの時期です。ここを乗り越えるためには、事前に様々な状況を想定して、進路について今一度御家庭でしっかり話し合っておくことが肝要です。

目標が決まったら、最後までやり切ることが大切です。私立大学に合格すると、国公立の後期試験をやめてしまうことがあります。どうしても精神的にきつくなって「早く受験から解放されたい」という気持ちが起こるためです。見守ることしかできない保護者の皆様も本当に苦しいと思いますが、本人はもっと苦しんでいるに違いありません。

お子様と一緒に最後まで粘り強く頑張っていただけをお願いしています。最後まで諦めずに受験し、結果を出した生徒を私は何人も知っています。この時期の苦しみが人生の糧になることも知っています。今、お子様を預かる身として、その責任の重大さをひしひしと感じています。

「雲外蒼天」の言葉のとおり、苦しみの向こうにある幸せを信じ、お子様の頑張りが報われることを願って共に支えていきましょう。大洲高校教職員一丸となって生徒たちをバックアップしていきます。

